

比内公民館だより

令和4年



4月号

館報のバックナンバーは市ホームページでご覧になれます。

比内あおぞら学園

令和4年度 受講申込 4/5(火)より受付開始!

【対象】 大館市に住む60歳以上の方

【定員】 70人 (先着)

【入学金】 2,000円 (開講式当日 5/19に納入) ※館外研修、材料費等別途負担あり

【活動内容】 学習は月1回(第3木曜日)で5月から12月の全8回実施。午前は主に教養科目
聴講、午後は選択クラブ学習。他に館外研修もあります。

【選択科目】 1. 今晚のイタリアン 2. 合唱 3. 円熟体操
4. 郷土歴史研究 5. やさしい書道 6. お手軽スイーツ
※クラブを1つ選択(2つ選択したい場合は要相談)

【申込先】 比内公民館 (☎43-7141) ※初めてのかたは申込書記入にご来館ください。
申込期限は5月6日(金)

みなさんお誘い合わせの上、お申込みください

令和4年度 午前教養科目 年間予定表

※内容は予定につき変更となる場合があります

	日時	内容	講師
第1回	5/19(木) 10:00~12:00	・開講式 ・講話	国立大学法人秋田大学客員教授 秋田大学北秋田分校長 三浦 栄一 氏
第2回	6/16(木) 10:00~11:30	・地域おこしについて(仮)	いしころ合同会社 代表 石山 拓真 氏
第3回	7/21(木) 10:00~11:30	・まちづくり ～比内八郷台地の地勢と扇田の H ₂ O 水	ふるさと比内会 会長 北羽歴史研究会会員 宮越 堯 氏
第4回	8/18(木) 10:00~11:30	・ものづくり体験	子育てサポーター"マロン" (リクルーシヨ) 看護師 顧問 石戸 幸子 氏
第5回	9/15(木) 10:00~11:30	・出前講座 (内容未定)	担当課と調整中
第6回	10/20(木) 未定	・館外研修	
第7回	11/17(木) 10:00~11:30	・日本映画あれこれ	映画サークル 絵夢人倶楽部 代表 越前 貞久 氏
第8回	12/15(木) 10:00~14:00	・健康講座 ・閉講式	健康課保健師

午後の選択科目は、6/16・7/21・8/18・9/15・11/17 の全5回を予定しています。

令和4年度 比内公民館関係者

- ・館長 神成 幸忠
- ・係長 嶋田 昌歌 (新)
- ・職員 佐藤 美子
小玉 紀菜美
- ・管理人 糸田 信昭
岸 春雄
本間 賢一

令和4年度 分館長・主事

- ・扇田 分館長：明石 和夫 さん
主事：萬田 清一 さん
- ・西館 分館長：多賀谷隆文 さん
主事：若宮 誠 さん
- ・八木橋 分館長：長谷部勇弘 さん (新)
主事：佐々木晃吉 さん
- ・東館 分館長：武田 孝 さん (新)
主事：野呂 忠朗 さん
- ・三岳 分館長：本間 昭弘 さん
主事：本間 賢一 さん
- ・味噌内 分館長：佐藤 正喜 さん
主事：佐藤 巧 さん
- ・大葛 分館長：三浦 兼裕 さん
主事：佐藤 正彦 さん

令和4年度 運営審議会委員

- ・議長 藤原 文子 さん
- ・副議長 小貫 寧子 さん
- ・委員 日景 隆 さん
高橋 コト さん
本間 初 さん
畠山 雄幸 さん
柴田 政範 さん
阿部 重信 さん

サークルについて

比内公民館では、現在40団体がサークルとして活動しています。合唱や習字、ししゅう、将棋、卓球、8人制ソフトバレーなど（次号登録サークル紹介予定）。既存サークルに興味があるかた、新たなサークルを立ち上げたいかた、ぜひ、比内公民館（☎43-7141）にお問い合わせください。



サークル登録団体は1ヵ月+10日前に利用申請できます！

比内町芸術文化協会 TOPICS

「芸林比内第47号」が刊行されます。発行が例年に比べて多少遅れましたが、実は、投稿者の皆さんがハッスルされまして記事のボリュームが大容量となったことが原因の一つです。

内容が久方ぶりに豊富になっています。会員の高齢化と減少により冊子も年々薄さを増していましたが、今回は手に迫力を感じられる重さと投稿記事に満足していただけるのではないのでしょうか。

協会発足当時、武田武雄先生たちが心血を注いで作られた機関紙です。先人の偉業を称えたいと存じます。



芸林比内第47号 1冊500円
比内公民館(43-7141)でも
取り次いでいます。

[編集後記]

ロシアのウクライナ侵攻が始まってから一ヶ月が経過しました。首都キーウに迫るロシア軍、他の主要都市ではミサイル攻撃などによる一般人の犠牲者が多数あり、双方の兵士の犠牲も合わせると数万人単位に上るようです。この惨劇が終わるのは何時になるのでしょうか。

過去の大戦で勝利と敗戦を経験している日本。繰り返される自然の猛威に対応する復興技術が優れている日本。そんな我が国がウクライナにできる支援は何でしょうか。

生涯学習の拠点として公民館はありますが、政治や宗教などには中立の立場であるべきとされます。但し今後、公表されていくと思われる戦争等の歴史的事象の真実に真摯に向き合い、同じ過ちが繰り返されることのないように学ぶことも肝要ではないかと思えます。

争いの火種は世界のいたる所で燻り続けていますが、やっとな繁栄する最中にある人類が、滅亡の悲劇を生みださないことを切望します。

「人類みな兄弟、一日一善」簡単なようで難しいことですね。

館長四期目よろしくお願ひします。

(館長 神成)